



コロラトゥーラソプラノ、オペラ歌手
オクサーナ・ステパニユック
Oksana Stepanyuk

2002年 国立ウクライナ・チャイコフスキー音楽院声楽科、及び器楽科を首席にて卒業。
イタリア・世界音楽コンクール、ブルクハルト国際音楽コンクール最高位。万里の長城杯国際音楽コンクール優勝。横浜国際音楽コンクール優勝、芸術分野におけるウクライナ功労賞受賞。チェコ音楽コンクール優勝、FUGA国際音楽コンクール 金賞・グランプリ第2回マルゲリータ・グリエルミ声楽コンクール一般歌手部門第2位、など多数の国際コンクールで受賞。
オペラ歌手として、ヨーロッパからアジアまで世界中で演奏。

2000年12月 リムスキー・コルサコフ「クルザールの結婚」マルファ役にデビュー。
2002年9月 元ローマ法王ヨハネ・パウロ二世に招かれ御前演奏。
2003年8月 初来日、各地でリサイタルを行う。
以来、高円宮久子殿下宮邸に招かれバンドウラの御前演奏。NHKラジオ、テレビの番組に出演など日本での活躍をスタート。以来、日本全国で700回以上、ソロリサイタルを行う。
2005年 ユーシェンコ前ウクライナ大統領訪日に際し、小泉前首相官邸での晩餐会にて歌曲他披露。
2012～日本フィル、小林研一郎指揮、ベートーヴェン「交響曲第九」。藤原歌劇団公演、ヴェルディ「仮面舞踏会」オスカル役。日本フィル、ヘンデル「メサイヤ」。藤原歌劇団公演「カルメン」ミカエラ。東京芸術劇場での「カルミナ・ブラナー」ソリスト。ヴェルディ「椿姫」のヴィオレッタ。ヴェルディ「リゴレット」ジルダ。マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」ローラ役。オペラ「荒城の月～瀧廉太郎」日本語上演にベルナデッタ役で出演。松本市キッセイホールでのバッハ クリスマスオラトリオ ソプラノソロ出演。ヴェルディ「椿姫」のヴィオレッタ、プッチーニ「ラ・ボエーム」のムゼッタ、など多数のオペラに出演。
2018年 演劇「夕鶴」つう役に女優としてデビュー。
2019年 アジア連合親善大使賞受賞
2021年には、日生劇場公演ベッリーニ作曲オペラ「カブレーティ家とモンテッキ家」にてジュリエット役を好演、絶賛を浴びた。
その他、文化庁後援日経ホールでのソプラノリサイタル。
BSテレ東「おんがく交差点」出演など多岐に渡り活躍。
2022年12月 サントリーホールでのオペラ紅白歌合戦に特別ゲストとして出演
現在、藤原歌劇団正団員、日本オペラ協会。
コンクールの審査員等もつとめる。

全 7 タイトルのCDを発売
2022年 New CD 「ウクライナの歌姫によるウクライナの歌」
2022年 シングルCD 「キーク、鳥の歌」をリリース

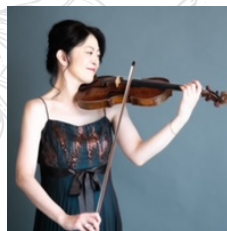
NHKラジオ、テレビ番組に出演。サントリーホール、東京芸術劇場、紀尾井ホール、王子ホール、東京文化会館、文化村オーチャード・ホール、日生劇場、オペラ、ソロ、デュオ・コンサート開催。東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団など、日本の代表的なオーケストラと共演。
ミロシニチェンコ・イエヴゲニア、マルゲリータ・グリエルミに師事。

東日本大震災後、福島支援のコンサートや、スリランカ・カンボジア・フィリピン・ウクライナなどで多数のチャリティコンサートを開催している。

主なレパートリー
ヴェルディ「椿姫」「リゴレット」「仮面舞踏会」、ハイドン「天地創造」、ドニゼッティ「愛の妙薬」「ランメルモールのルチア」、モーツァルト「魔笛」「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」、プッチーニ「ジャンニ・スキッキ」、プッチーニの「ラボエーム」、シユトラウスII「こもり」、リムスキー・コルサコフ「クルザールの結婚」、ヘンデル オラトリオ「メサイヤ」、ベートーヴェン交響曲第9番ソリスト等。カール・ホルフ「カルミナ・ブラナー」、大ミサ曲 短調 K.427 (K.417a)モーツァルト など
オクサーナ・ステパニユックのレパートリーは、ウクライナの作曲家をはじめ、1000以上の世界的に有名な作曲家による作品で構成されている。

ブラトン・マイボロダ、ミコラ・リセンコ、イゴール・シャモ、アナトリー・コス・アナトルスキー、モーツァルト、ジュゼッペ・ヴェルディ、バッハ、ベートーベン、フランツ・シューベルト、フレデリック・ショパン、ヨハン・シュトラウス、ジョアキーノ・ロッシニ、ジャコモ・プッチーニ、ガエターノ・ドニゼッティなど。
ウクライナ語の他、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、日本語、チェコ語、ポーランド語で演奏している。

現在、最も実力、人気を供えたコロラトゥーラ ソプラノ、オペラ歌手として活躍している。



ヴァイオリン
副島 聖代
Masayo Soejima

東京都立芸術高校音楽科を経て武蔵野音楽大学卒業。在学中、学内オーケストラのコンサートミストレスを務め、ヨーロッパ公演に参加。卒業演奏会に出演。卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院にて研鑽を積む。その間、病院などでの慈善演奏、リスト音楽院内のホールにて、リサイタル、室内楽の夕べ、オーケストラなどに出演。ハンガリー・デブレツェン市立交響楽団とメンデルズゾーンのヴァイオリン協奏曲を共演。韓国にてソウルシンフォニエッタと、東京にてRCC室内合奏団と、それぞれバッハのヴァイオリン協奏曲第2番を共演。ヴィエール室内合奏団とヴィヴァルディの四季ほかを共演。オーストリア・グラーツ国際音楽祭参加、C・ポリチヨイデス氏に師事、現地のTVで放送される。フランス・オーヴェルニュにて現ロンドンSOコンサートマスター、G・ニコリッチ氏に、ウィーンにてウィーンフィルメンバーによる室内楽を度々受講。
帰国後は、ソロをはじめ、室内楽・オーケストラ・レコーディング活動、また後進の指導にあたる。
日本フラワーデザイン協会、日本盲導犬協会会員。



チェロ
小川 和久
Kazuhisa Ogawa

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ボルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ボルドー市栄誉賞を受賞した。

2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール)ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ボルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Csellox, TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコングレスにも参加。
これまで、インストメンタル ドウ コルス(コルスシカ)の首席奏者を務め、2011年から山形交響楽団の首席奏者に就任した他、プレジャス・カルテット、チェロロックトリオ・カンターナ、長岡京室内アンサンブル、山形チェンパーミュージシャンズなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。

これまでに千本博愛、Etienne PECLARDの各氏に師事。



ピアノ
比留間 千里
Chisato Hiruma

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科ピアノ専攻修了。福井直秋奨学生。

伴奏法をヤン・ホラク、クリスティアン・ドゥ・プロインの各氏に師事。在学中より演奏活動始める。

現在、主に声楽、器楽の伴奏を中心に活動している。
第11回チェコ音楽コンクール声楽部門に於いて最優秀伴奏者賞受賞。第7回オペレッタコンクールに於いて審査員特別奨励伴奏者賞受賞。第1回パーゼル国際声楽コンクールに於いて伴奏者賞受賞。2021年8月には白寿ホールにてソロリサイタルを開催。

寄付のご報告

第10回2022年8月21日開催の寄付先と寄付額 : 相馬市教育基金¥513,000

第1回2011年6月から第10回8月までの寄付合計 : ¥6,179,649

(2016/3/13 相馬市市民招待コンサート経費 ¥607,577含む)

皆様の暖かいご支援に心から感謝いたします。支援のコンサートは子供たちが成人するまで続けてまいります。今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。